

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(H29～30年度:計画主体:帯広市農業再生協議会)(北海道)

取組の概要

- 取組の概要 : 長いも冷凍とろろ製造による付加価値の還元及び出荷体制の整備に伴う販売額の増加
- 計画作成主体 : 帯広市農業再生協議会
- 対象品目 : 長いも(産地面積:540ha)
- 主な取組主体 : 帯広市川西農業協同組合
- 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
- 助成金の活用 : 整備事業(農産物処理加工施設)
- 状況 : (長いも冷凍とろろ製造施設)
(長いも洗浄選別・包装設備)

ポイント

ほ場に破棄されているほ場選外品、規格外(CS品)、選果規格層を冷凍とろろに加工することで有効活用することで、農家の所得向上を図るとともに、実需者の求める出荷形態を実現することで、販売額の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

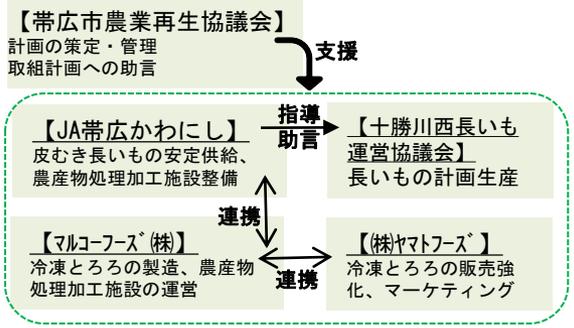
- 作付面積:534.6ha、生産量:20,335t
- ・選果規格層、ほ場選外品等は廃棄
 - ・原料輸送(製造工場:埼玉県)にリードタイムを要し、菌発生リスクが高い
 - ・原料輸送コストに係る

〈目標:H32年度〉

- 作付面積:540.0ha、生産:23,166t
- ・廃棄品を冷凍とろろ原料として活用し、農家の所得を向上
 - ・長いもの品種転換により反収が20%増加し、生産量の増加と原料の安定供給を実現
 - ・実需者の求める出荷形態を実現



推進体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 地域10農協で広域産地を形成し、年間安定供給体制を構築
- 平成11年から台湾への輸出を開始し、太物の大口需要先を確保することで、販売を安定化
- 選果場でSQF認証を取得し、更なる安全・安心を目指している

取組成果

- ほ場生産物の全ての利用や原料供給から販売までの一貫した体系が構築され冷凍とろろの安定生産が可能となり、輸送コストの軽減、輸送時の菌発生リスクが軽減される
- このことにより、販売額の増加や生産者所得の向上につながり、長いもの更なるブランド化と産地強化を実現

～長いもの販売額の増加～

